

CASBEE神戸 ver.2 (仮称)ワコーレ中央区中山手通3丁目 新築工事		■使用評価マニュアル: CASBEE神戸 ver.2 ■評価ソフト: CASBEE神戸 ver.2 / CASBEE-BD_1				
スコアシート 実施設計段階		欄に数値またはコメントを記入				
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.4
Q1 室内環境			0.40			3.5
1 音環境		3.0	0.15	3.5	1.00	3.4
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	4.1	0.50	
1 開口部遮音性能	T-2ペアガラス(6+A12+6)	3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能	Dr-50	3.0	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	Lr-45	3.0	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
1 室温		-	-	-	-	
2 外皮性能		3.0	1.00	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御		-	-	-	-	
2.3 空調方式		-	-	-	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	4.0	1.00	3.7
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率	出来る限り開口部を設け外光を取り入れるよう努めました。	5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策	カーテン・ブラインドの設置による対策	2.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御	各開口部にカーテンレールを設置し、カーテンによる遮蔽に努めまし	2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質	建材はF☆☆☆☆のみを使用	5.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.5
1 機能性		3.7	0.40	4.4	1.00	4.2
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応	NTTフレッツひかりハイスピードタイプを設定	3.0	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画		4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画	ホテルのロビーを意識した共用部を計しています。	4.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	内外装の仕上げ材に防汚性の高い建材・塗材を使用。	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	各機能を維持管理に利用し易い位置に設置	2.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	SUSダクトを使用、適切な勾配を確保し、たまり水を防ぐ。	4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.2	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	通信手段の多様化	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり		-	-	3.2	0.50	
	2	空間の形状・自由さ		-	-	4.0	0.60	
3.2	荷重のゆとり			-	-	2.0	0.40	
3.3 設備の更新性	3.3 設備の更新性			3.0	1.00	3.0	0.50	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			建物を東側へ寄せ、隣接住宅への圧迫感を低減している。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEIm 非住宅 - 住宅(専有部) 1.08	3.4	0.50	-	-	3.4
集合住宅以外の評価(3a.3b)				-	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)				3.4	1.00	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	-	-	-	
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			外壁タイル、長尺シート	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.9	0.20	-	-	3.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用			建材はF☆☆☆☆のみを使用	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-	
1 消火剤			不活性ガス消火剤を使用	4.0	0.50	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	
3 冷媒				-	-	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮				3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.3	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減				-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制			駐車場に至るまでの車路にて道路での停滞を抑制しております。	4.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	
2 振動				-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	